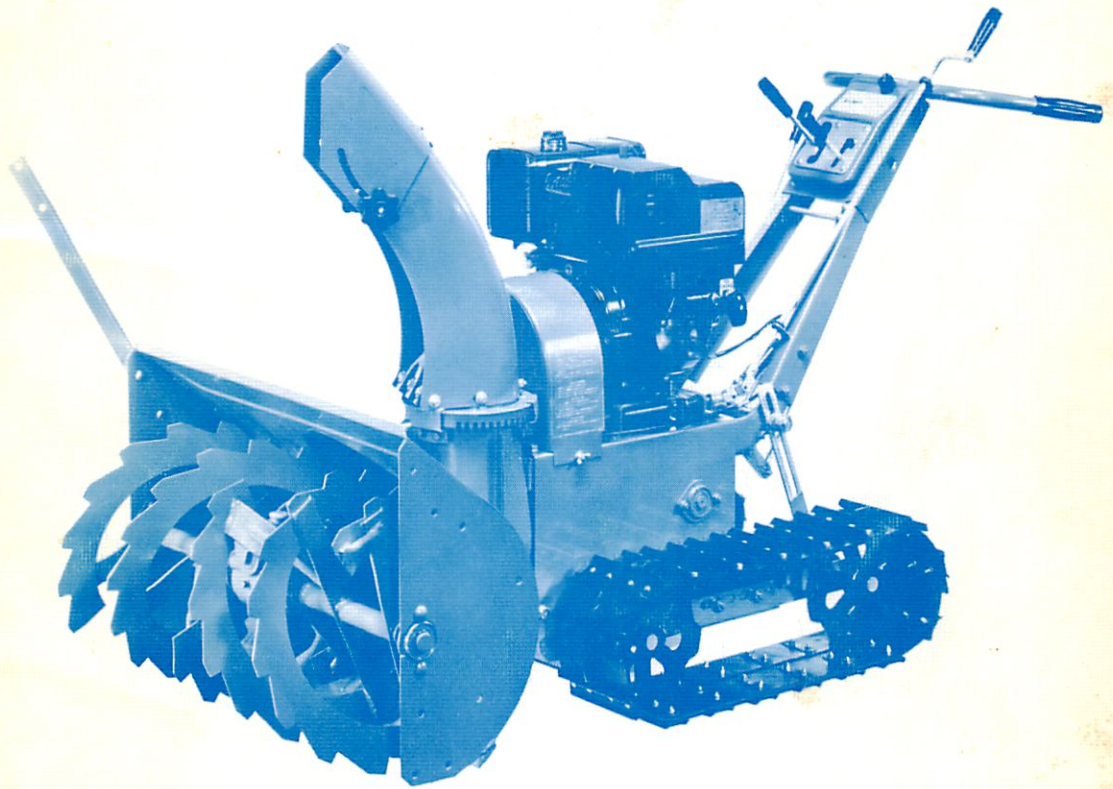


# スノースロワー 88/88S

取扱説明書(部品表付)



15年

No. 1880-1881

ヤナセ

このたびは、ヤナセの小型クローラー型除雪機スノースロワー88  
／88Sをお買い求めいただき、誠に有難うございました。  
ご使用いただく前にこの取扱説明書を良くお読みになって、本機  
の性能を十分に発揮され、末永くご愛用くださるようお願いいた  
します。

## 目 次

安全のために	2
特長と構造	3
各部の名称	3
仕業点検	4
エンジンの始動と停止	5
運転操作	7
各部の点検と調整	12
注油	12
調整	13
保管について	17
配線図	17
諸元・性能表	18
保証について	19
部品のご注文について	19
部品表	21

# 安全のために!!

1 使用前には、必ず取扱説明書を読み、正しい操作を覚えてから運転してください。



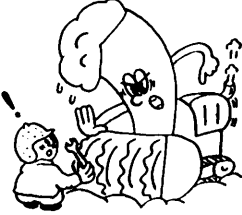
2 石や氷塊は意外に遠くまで飛ぶことがありますので、投雪方向の安全には十分に気をつけてください。



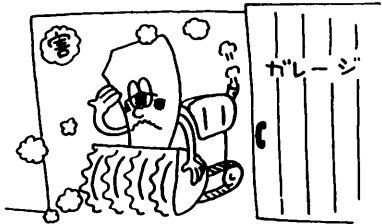
3 運転中は周囲の人間、特に子供を近づけない様にご注意ください。



4 シャーボルトの交換、シュートの詰まりなどのため、回転部分に手をふれる場合は、必ずエンジンを止め、さらにプラグコードを外して、不意の始動による事故を防いでください。



5 エンジンの排気ガスは有害です！ガレージ内、その他換気の悪い場所での運転はおやめください。



6 歩道や車の通る道などを除雪する際は、車に対して十分に注意する他、投雪方向の安全も確認してください。



# スノースロワー88/88Sで無理な除雪

本機は、ブロー型の除雪機で、踏固められた路面、屋根から落ちた氷まじりの雪や越冬した春雪などの除雪は困難な場合があります。

## 特長と構造

### ●群を抜く除雪能力

永年の研究から生まれたバランスのとれた除雪サイズ790mm(除雪中)×500mm(除雪深さ)と除雪機専用強力エンジンを装備しました。

### ●エンジン始動は1パツでOK

世界で一番多く愛用されている米国、ブリグス&ストラトン社製汎用エンジン(除雪機専用型)で、強力8馬力は厳寒時での始動もスムーズ。

### ●雪質にあわせてスピードを調整

前後進2段切換で硬い雪、湿ったベタ雪でも条件に合わせてスピード調整が可能です。

### ●静かなゴム製クローラ

振動・騒音が少なく、路面を痛めません。

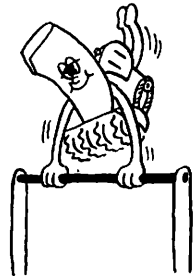
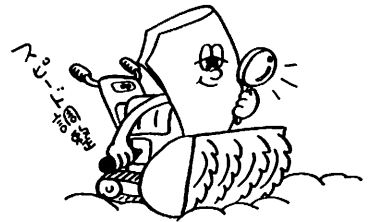
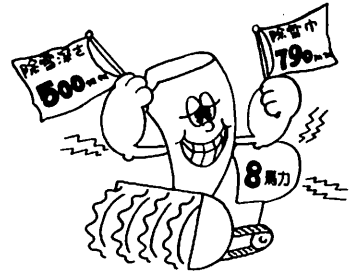
スチールグリッパーはスリップが少なく駆動力が大きい。

### ●操作はいたって簡単

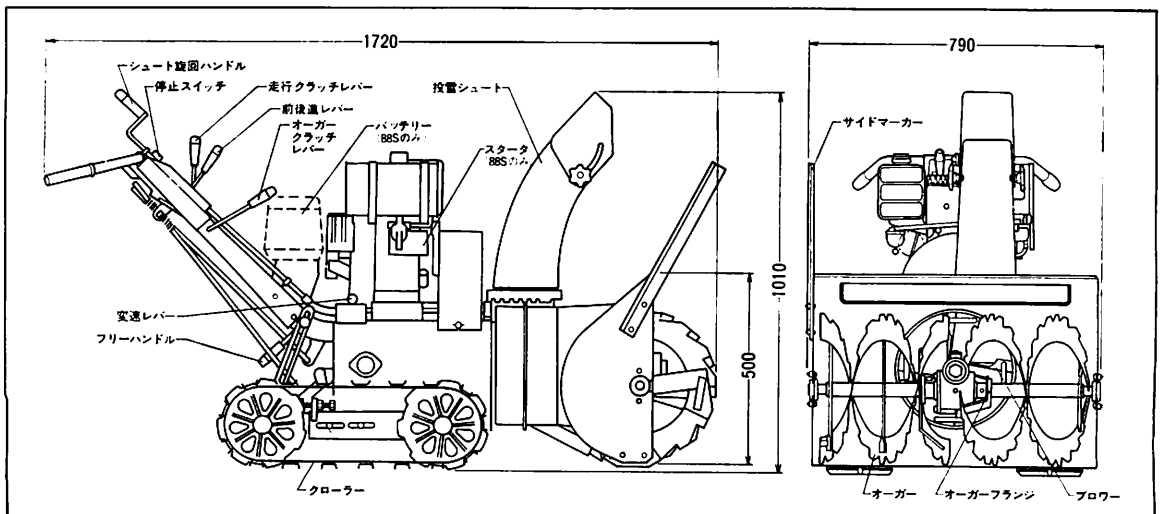
ハンドルをはじめ運転に必要なレバー類は、すべて手元近くに扱いやすくレイアウトしました。

### ●小型・軽量

バランスのとれた軽いボディーは、取りまわしが楽で作業が疲れません。



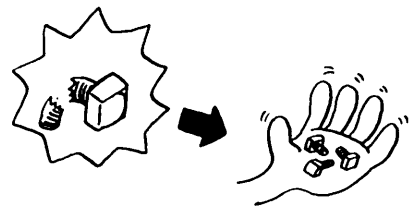
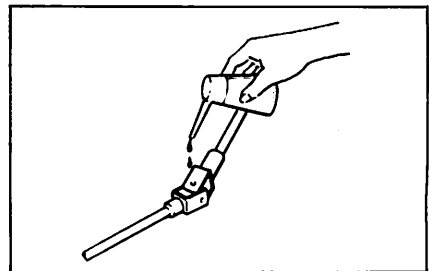
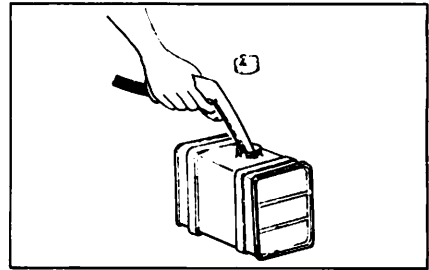
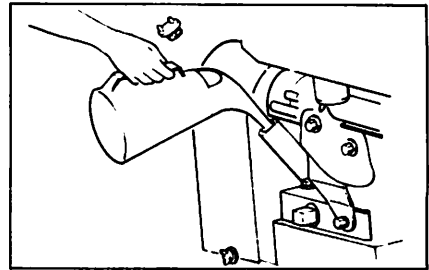
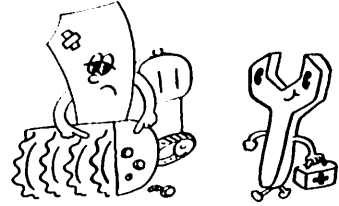
## 各部の名称



## 仕業点検

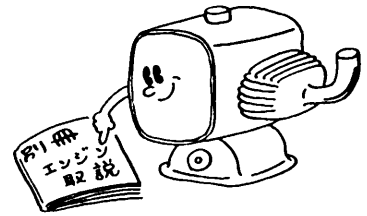
仕業の前に次の項目を毎日チェックしてから始動してください。

1. ボルト、ナット類がゆるんでいると本機の寿命を著しく短くし、又、本機損傷の原因となりますので、ゆるみがないか良くチェックしてください。
2. 始動前には、ブロー部及びクローラー、その他の回転ハンドルなどが凍結していないかを確認し、凍結している場合は氷雪を取除いてください。
3. ブロー部及びオーガー軸に、針金又は荷造り用のヒモなどが巻付いている場合、オイルシールなどを損傷しますので、必ずチェックして取除いてください。
4. 各ハンドル、レバー類の動きに異常はないか確認してください。調整が必要な場合は、「各部の点検と調整」の項を参照して調整してください。
5. エンジンオイル(SAE #10W)は毎日点検し、注油はオイルキャップをはずし、エンジンオイル(SAE #10W)を注入口からあふれるまで入れてください。(容量 1.3ℓ)
6. 燃料タンクには、必ずガソリンをタンク一杯にしてください。(容量 3.8ℓ) 運転中の燃料切れを防ぎます。
7. シュート部のエルボメタルとエルボピニオンとの噛合部や各ハンドル支点部分などの滑動部にはマシン油を毎日注油してください。
8. 予備のシャーボルトを、運転中の切断などに備えて、必ず何本かお持ちになってください。



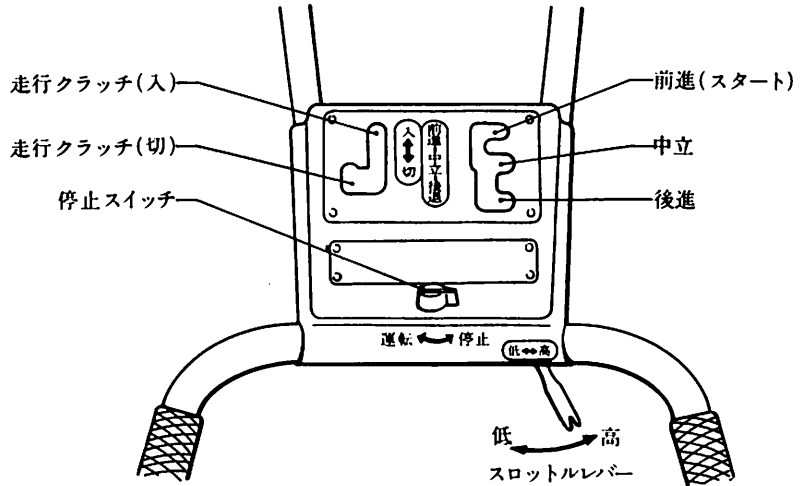
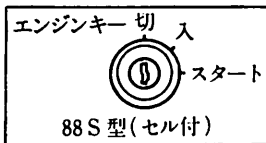
# エンジンの始動と停止

エンジンについては、別冊のエンジン取扱説明書を良くお読みになってください。



## ■始動方法

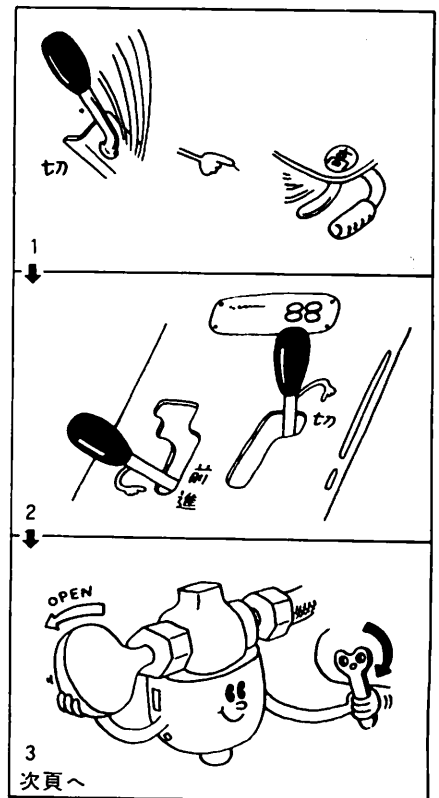
88S型エンジンの「運転・停止」操作は通常下図のエンジンキーにより行ってください。ハンドルについている**運転・停止**スイッチは常に運転の位置にしておき、非常停止の時だけ操作してください。



① オーガークラッチレバーを**切**にし、スロットルレバーを**高**の位置にします。

② 走行クラッチレバーを**切**にし、前後進レバーを**前進**(スタート)の位置にします。

③ 燃料バルブを開け、チョークレバーを完全に下げる。



④ 停止スイッチを(運転)に入れます。

⑤ エンジンが冷えきっている場合は、スターターロープを軽く2～3回引いて潤滑油を回転部にまわすと始動が楽になります。

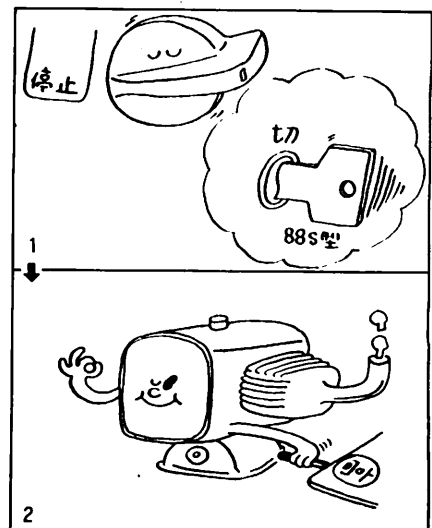
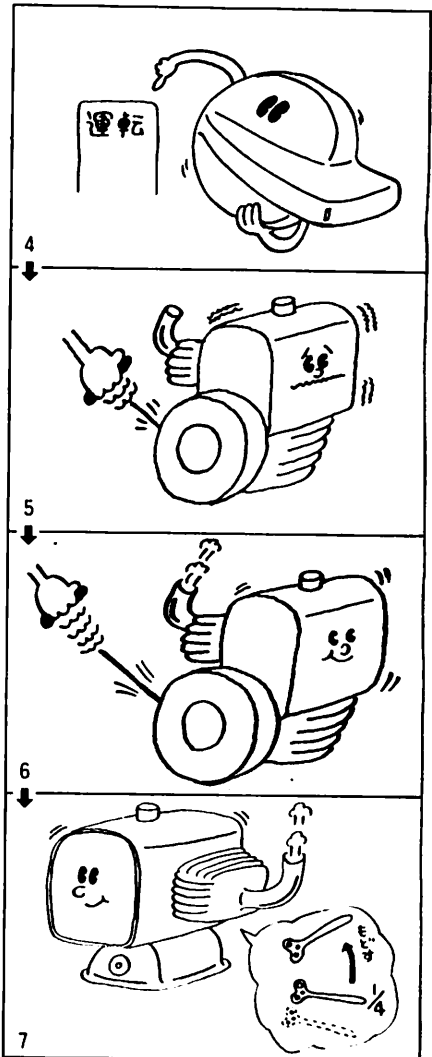
⑥ スターターロープを強く引きます。セルモーター付の88S型は、エンジンキーをスタートの位置へまわします。

⑦ エンジンが始動したらチョークレバーを $\frac{1}{4}$ ぐらい戻し、エンジンが暖まるにつれて徐々にチョークレバーを元の位置に戻します。

### ■停止

① エンジンの停止は、ハンドルの手元にある停止スイッチを(停止)の位置にします。88S型は、エンジンキーを(切)にして停止させます。

② 次回の始動に備え、エンジンが完全に停止してからスロットルレバーを(切)の位置にしておきますと、万一スロットルレバー関係部品が凍結しても容易に始動することが出来ます。

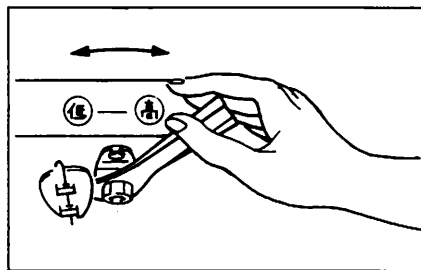


## 運転操作

作業に必要なレバー類は、次の7箇所です。

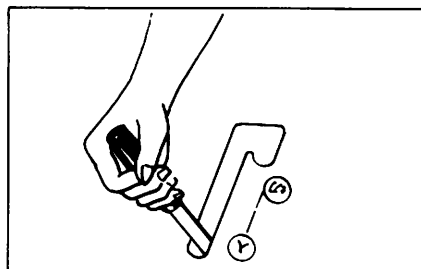
### ① スロットルレバー

除雪量が少い場合や軽雪の場合などには、必要に応じてエンジンの回転速度を調整してください。



### ② 走行クラッチレバー

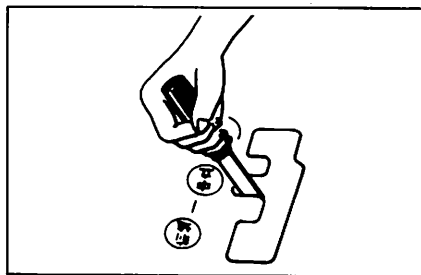
走行時はⒶの位置にし、走行しない時は必ずⒷにしてください。



### ③ 前後進レバー

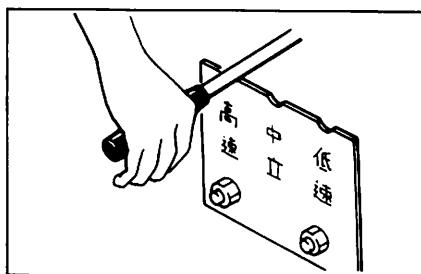
前進・中立・後進の切換レバーです。

前進・後進の切換えは、このレバー操作だけで行えます。



### ④ 変速レバー

- ・低速－通常の除雪作業用。
- ・中立－走行の停止。
- ・高速－移動時及び軽い雪や積雪の少ない際の除雪作業用。



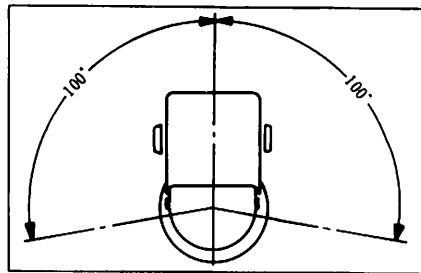


⑤オーガークラッチレバー

レバーをゆっくりと ㊦ の位置にしますと、オーガーとブロ  
ワーが駆動します。

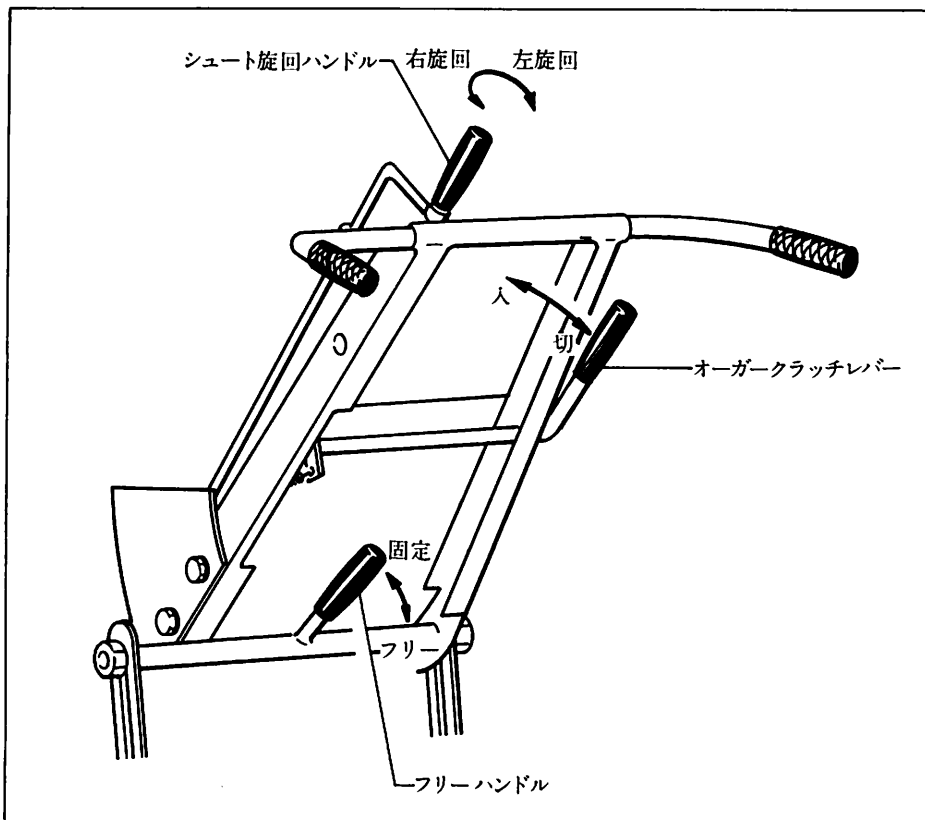
⑥シュート旋回ハンドル

投雪の方向を左右各100°の範囲内で変えられます。



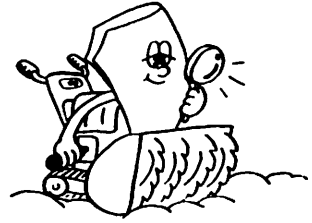
⑦フリーハンドル

除雪路面に凹凸のある場合は、ハンドルを後下方に倒すとク  
ローラー部と本機がフリーの状態となり、オーガー部を自由に  
上下させることができます。

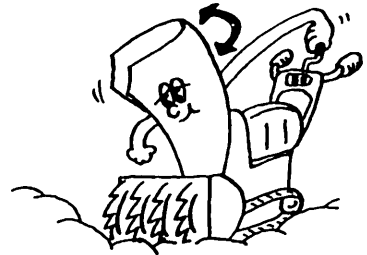


## ■ 運転順序

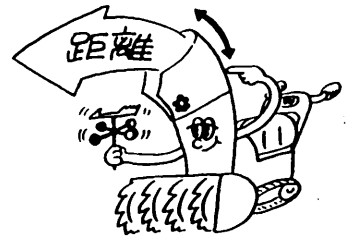
1. 雪の性質、量により変速レバーで速度を選択します。  
一般に雪の量の少ない時や軽い場合は高速に、オーガー巾い  
っぱいで使用する場合は低速に入れてください。



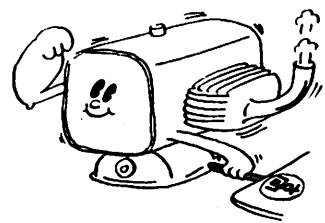
2. シュート旋回ハンドルで投雪方向を選択します。  
投雪方向の安全をよく確認してください。



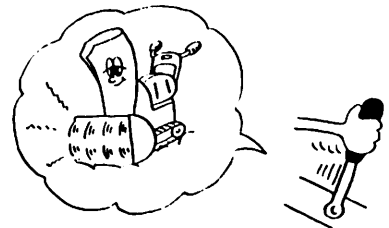
3. エルボ先端のシュートで投雪距離を選択します。  
投雪距離は、風向の影響を受け易く、又ブロワーの回転方向  
が右方向である関係から、右方向への投雪が、左方向に比べ  
投雪距離は大きくなります。



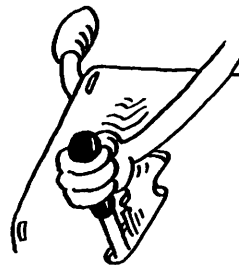
4. スロットルレバーを操作し、エンジン回転を ㊸ にします。  
軽い雪や量の少ない場合は、回転を多少下げてください。



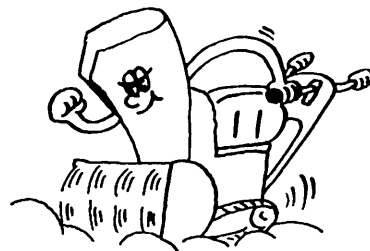
5. オーガークラッチレバーを ㊹ にし、オーガーとブロワー  
を回転させます。この際、投雪方向などに危険がないか再度  
確認の上、除々に入れてください。



6. 前後進レバーを(前進)に入れます。

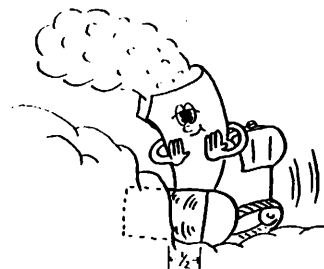


7. 走行クラッチレバーを(Ⓐ)にすれば、作業の開始となります。

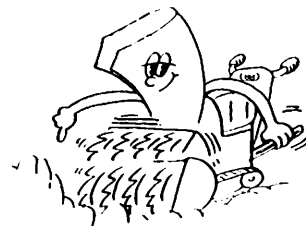


### ■除雪作業の要領

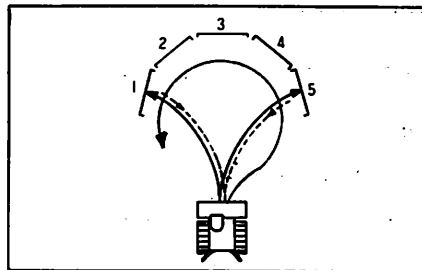
- 雪が浅い場合や軽い雪などの時は、最大出力以内での作業が可能であり、燃料の節約になる為スロットルレバーを(Ⓑ)から少し下げて使用してください。
- 重い雪や雪が深い場合は、オーガー巾いっぱいに使用しないで除雪巾を少なくしますと楽に除雪できます。



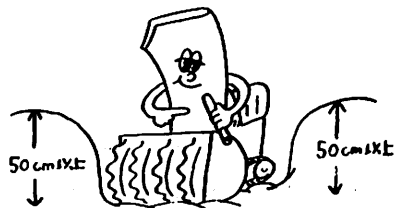
- 重い雪や雪が深い所で走行抵抗が一時的に大きくなったときは、いったん走行クラッチレバーを(Ⓒ)にしてオーガーケース内の雪を投雪してから、再び入れて除雪してください。
- フリーハンドルは不整地では、一般にフリーの状態にして、オーガーを自由に上下出来る様にして除雪します。



- 雪が深い中では、雪の抵抗により前進による旋回が困難となります。この場合は、図のように前・後進繰返しによる除雪で旋回スペースを確保すると作業能率が上がります。



- 積雪高がオーガーケースより高い場合は、サイドマーカをオーガーケースの雪のある側の側面(左又は右)に取り付け、除雪作業中における除雪幅の目安や除雪側面の切開き、仕上げにご使用ください。



- 細い道路や道の両側に塀・建物があり、左右に投雪できない場合は、シュートを前方にし、送り込みながら除雪してください。

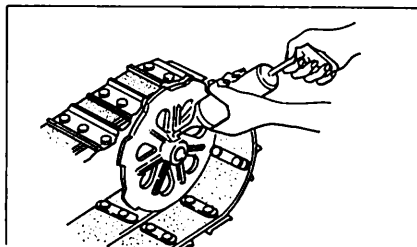
## 各部の点検と調整

毎日チェックする項目は「仕業点検」を参照してください。

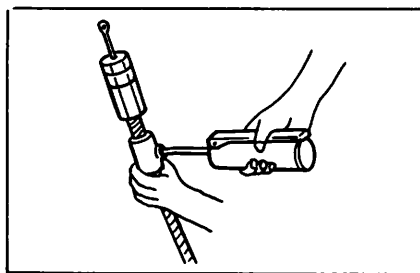
### ■注油

#### 1. グリース注油

- クローラー後部軸のスプロケットホイール(左・右)のグリースニップルへ10時間毎に、自動車用シャーシグリースを注入してください。

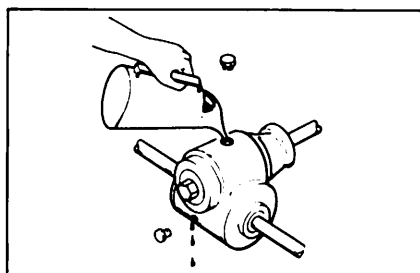


- スロットルワイヤー、オーガークラッチワイヤーのグリースニップルへ10時間毎にグリースを注入し、ワイヤーケースに水分が入って凍結するのを防いでください。

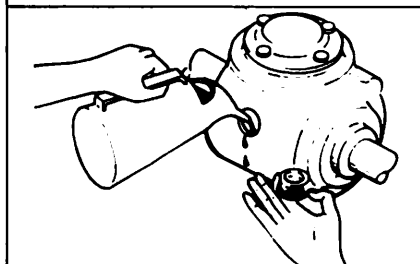
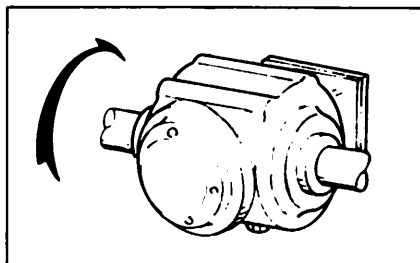


#### 2. オイル注油

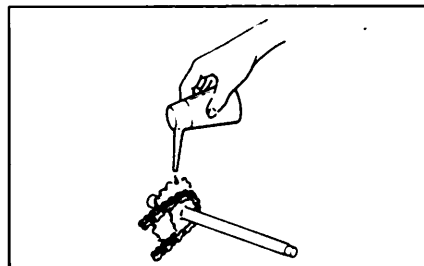
- オーガークラッチボックスには、ギヤオイル(SAE #80)を図のようにレベルプラグの穴よりオイルが流れ出すまで入れてください。オイル交換は、50時間毎に行ってください。



- ベベルギヤボックスには、50時間毎にギヤオイル(SAE #80)250ccを交換します。注油はオーガークラッチをⒶにし、ハンドルを持ち上げ、オーガークラッチを脚にして本機を立てた状態で注油口からオイルがあふれるまで入れてください。注油栓は確実に締めてください。



- ローラチェーンには、マシン油、又はギヤオイルを10時間毎に注油してください。
- ボールベアリングは無注油で2年間は使用できます。3年目にお買い求めの販売店でチェックを受けてください。



## ■ 調 整

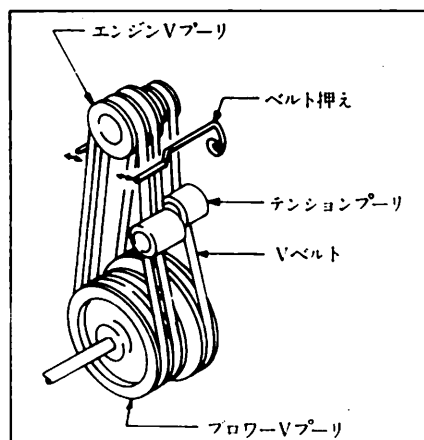
### 1. 走行及びブロワーベルトのテンショナー調整

走行クラッチレバーとオーガークラッチレバーを㊸にした状態でエンジンプーリーが空転し、Vベルトに動力が伝わらないように、ベルト押えを調整します。ベルト押えとVベルトの適正間隙は、ほぼ4～5mmですが、微調整は、本機で確認しながら行ってください。

### 2. 走行クラッチレバーの調整

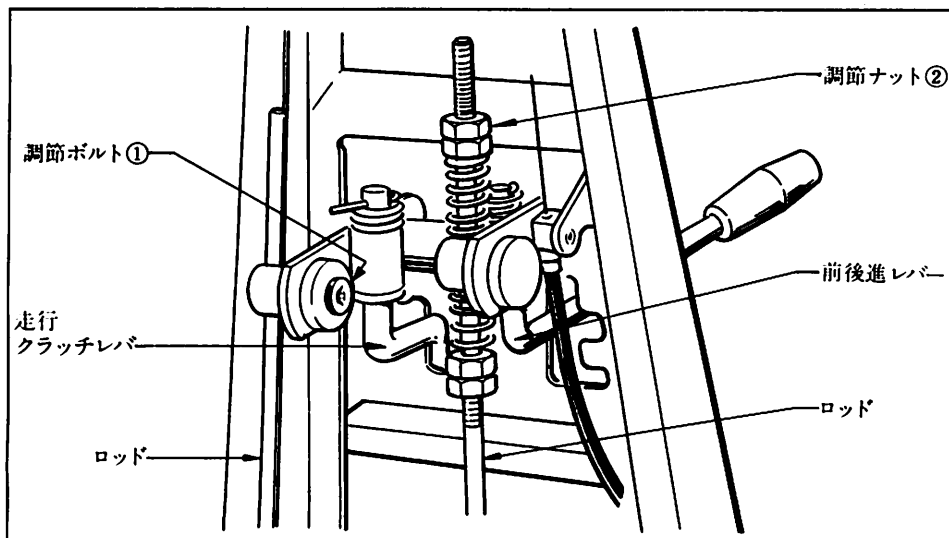
走行クラッチレバー㊸でテンションクラッチが入り、㊸の位置でテンションクラッチが離れます。

テンションクラッチの動きを見ながら下図の調節ボルト①を㊸の位置で走行が完全に停止するように調整してください。



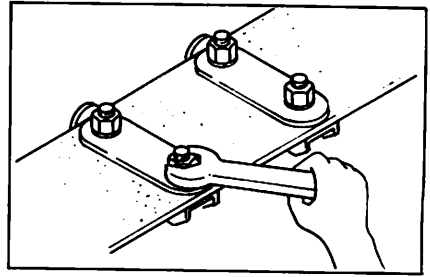
### 3. 前・後進レバーの調整

前進・中立・後進の各レバー位置は下図の調整ナット②をゆるめ、作動を確認しながら中立の位置を基準として調整してください。



#### 4. グリッパー取付ボルトの増締め

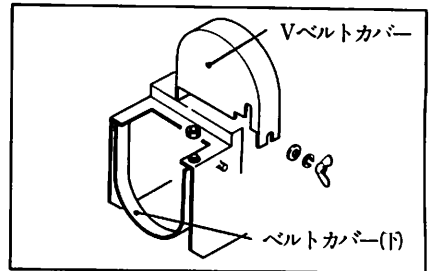
グリッパー取付けボルトは、最初の運転2～3時間後に、増締めが必要です。



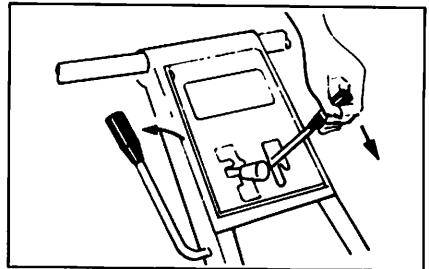
#### 5. Vベルトの交換

Vベルトが伸びたり摩耗した場合は、次の順序で交換してください。

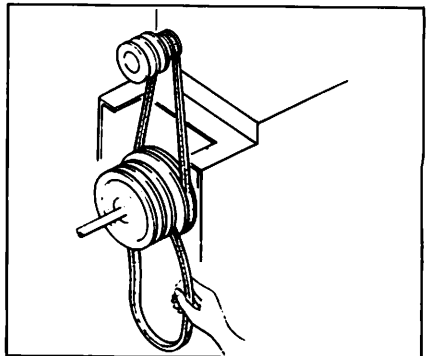
- ①Vベルトカバーを外す。
- ②ベルトカバー(F)を、取付ナットをゆるめてフリーにする。



- ③走行クラッチレバー及びオーガークラッチレバー (切) にし、テンションプーリーをベルトから離します。



- ④ブロー軸Vプーリーと走行軸Vプーリーとの間からVベルトを取り外す。



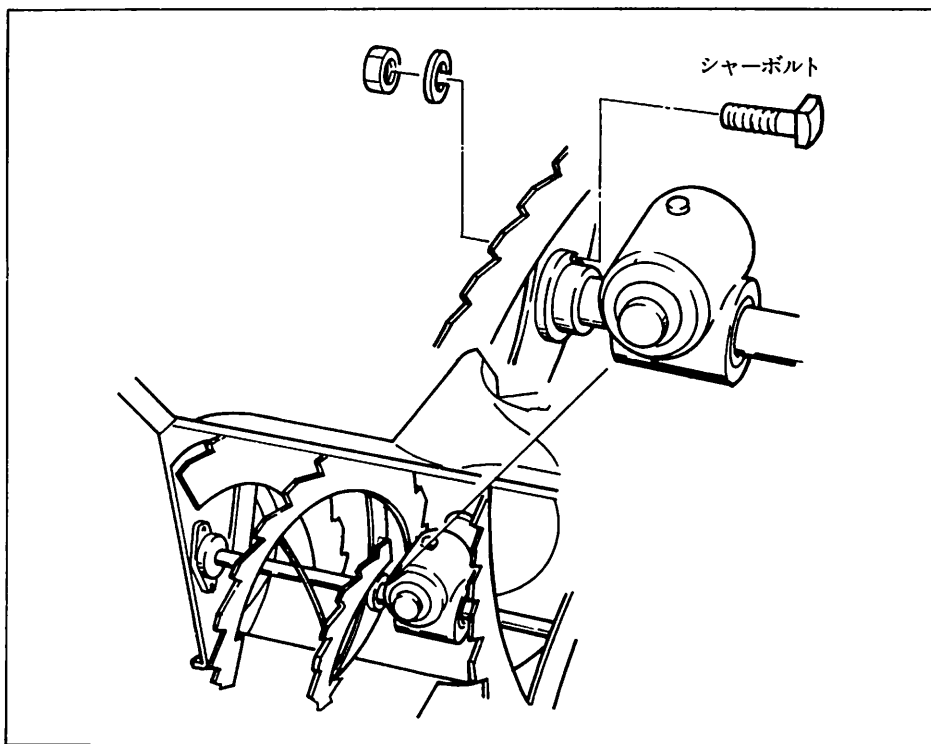
- ⑤新しいVベルトの取り付けは、上記の逆④ → ①の順で行ってください。

## 6. シャーボルトの交換

オーガーとオーガーケースの間に異物が詰まったりして、オーガーに過大な荷重がかかるとシャーボルトが切断し、本機の破損を防止します。シャーボルトは、オーガー左右に各1個ついています。切断した場合には、スペアのシャーボルトと交換してください。

### 【注意】

シャーボルトはヒューズの役目を果たしています。シャーボルトに他のボルトなどを代用しますと、機械破損の原因となりますから純正部品以外は絶対に使用しないでください。



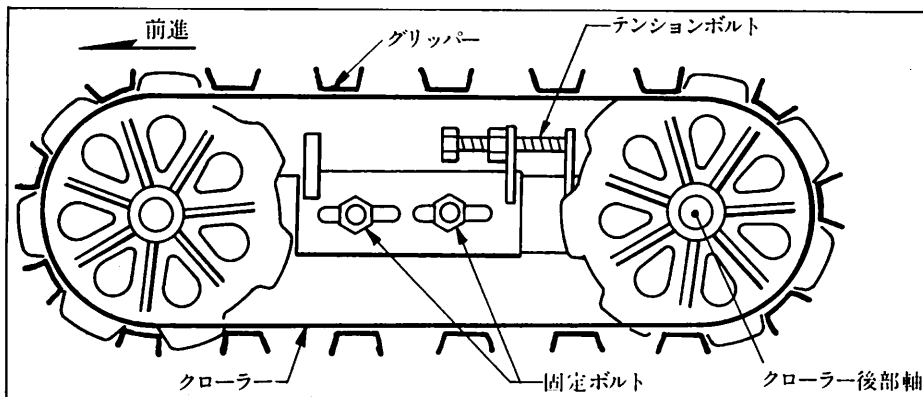


## 7. クローラーの張り調整

クローラーの調整は、固定ボルトをゆるめてから、テンションボルトのナットをゆるめ、クローラー後部軸を後に力いっぱい(約30kg)引いた状態でテンションボルトを張ります。クローラーの張りは左右同様に、ゆるめたナットをしっかりと固定してください。

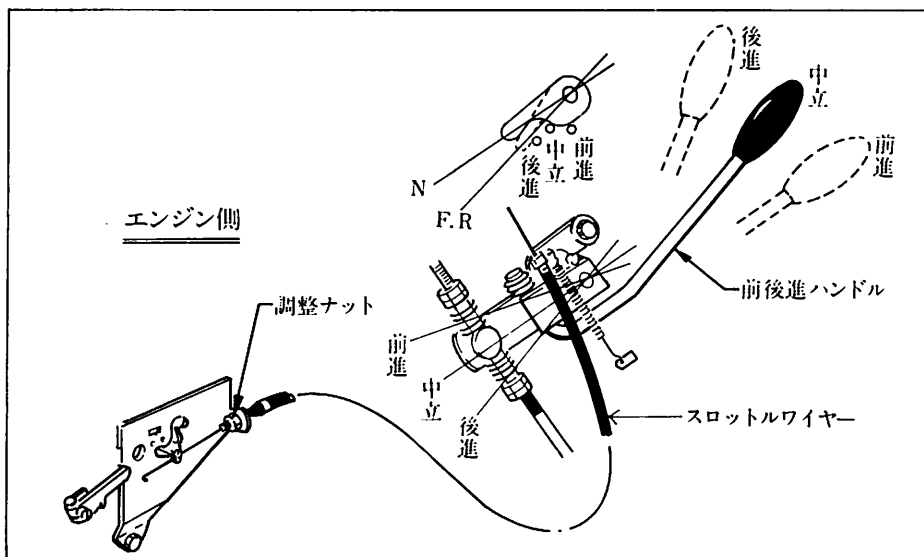
### 【注意】

クローラーのベルトを張りすぎますと、走行がスムーズでなくなり、又ベルトが切れることがありますのでご注意ください。



## 8. エンジンスローダウン装置の調整

前後進レバーの操作に連動して中立の位置でエンジンの回転数を自動的に下げる装置です。レバーが中立の際はエンジン回転数はスローに固定され、前進及び後進の位置では、スロットルレバーによりエンジンの回転数を自由に調整できます。スローの回転数を調整する場合は、スロットルワイヤーの調整ナットでワイヤーの外側ケースの取付位置を調節してください。



## 保管について

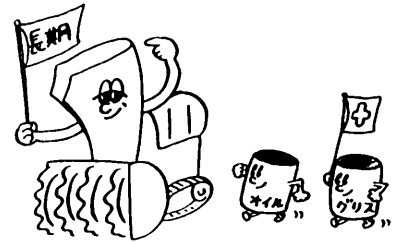
### 1. 日常の保管

- 作業終了後は、各部に付着した雪などを取除いて、回転部の凍結・錆を防止します。
- 屋外に置く場合には、必ず覆いをかけてください。特に、操作レバー部・エンジン周辺部には完全にかけてください。



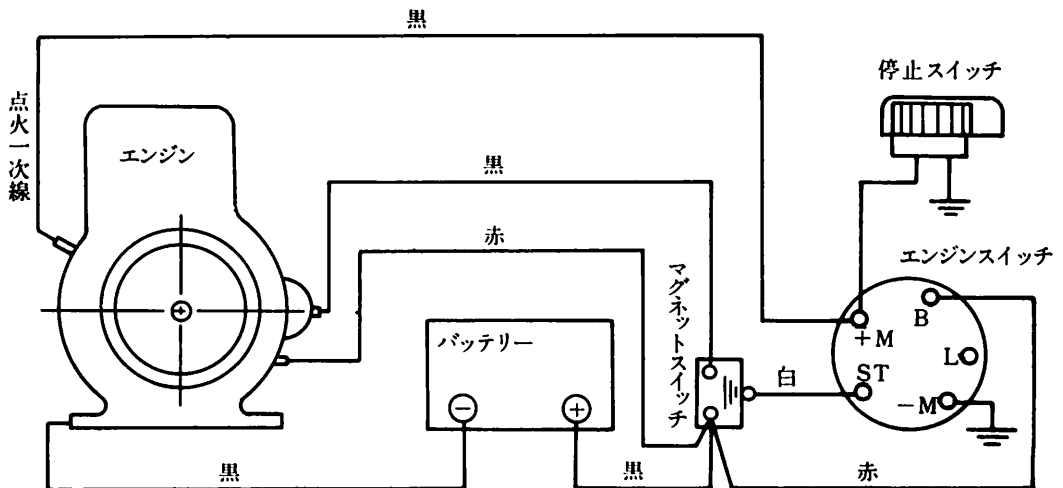
### 2. 長期の保管

- 注油の項で説明したすべての注油箇所へ注油し、滑動部及びサビの生じやすい軸、グリッパーなどに防錆のためにグリースを塗布してください。
- オーガークラッチハンドルは ⊕ の位置にし、長期保存によるスプリングの疲労を防止します。
- エンジンについては、別冊のエンジン取扱説明書の「格納上の注意事項」をご覧ください。



## 配線図

### ■ 型式 IZ-Y88S(セル付型)



諸元・性能表

名 称		スノースロワー88	スノースロワー88S
型 式		I Z - Y 88	I Z - Y 88 S
機 体 仕 様	機体 寸法	全 長	1,720mm
		全 巾	790mm
		全 高	1,010mm
	走 行 装 置	ゴムクローラー(スチールグリッパー付)	
	接 地 圧	0.084kg/cm <sup>2</sup>	0.089kg/cm <sup>2</sup>
	重 量	176kg	188kg
エ ン ジ ン	名 称	ブリグス&ストラトン	
	型 式	モデル I90432	モデル I90437
	排気量・出力	319cc 8HP/3,600r.p.m.	
	使 用 燃 料	ガソリン	
	燃料タンク容量	3.8ℓ	
	始 動 方 式	ロープリコイルスターター	12Vセルモーター及びロープスターター
	バ ッ テ リ ー	12N24-3 (24Ah)	
除 雪 装 置	除 雪 装 置	ツーステージ形	
	投 雪 範 囲	200度	
	オ ー ガ ー 巾	748mm	
	オ ー ガ ー 径	406mm	
	オーガー回転数	128r.p.m.	
	オーガー駆動法	センタードライブ	
	ブ ロ ヱ ー 径	310mm	
	ブロー回転数	1,279r.p.m.	
性 能	除 雪 巾	790mm	
	除 雪 深 さ	500mm	
	除 雪 能 力	48t/時	
	投 雪 距 離	4 ~ 12m	
	走 行 速 度	前進 2 段 低速 750m/h 高速 1,500 m/h	後進 2 段 低速 750 m/h 高速 1,500 m/h
最小回転半径	その場回転		

## ■保証について

お買い求めいただいたスノースロワ-88/88Sは、納入日より6ヶ月間の保証が付いております。

販売店より納入時にお渡ししました保証書は、アフターサービスをお受けいただくためにも大切に保存してください。保証期間中であっても、保証書のご提示がありませんと有償サービスをお願いすることになりますので、ご注意ください。

## ■部品のご注文について

部品のご注文の際には、次の事項をお知らせください。

〈例〉 機 種……………スノースロワ-88  
型 式……………IZ-Y88  
製造番号……………1880101  
部品番号……………410-5  
部 品 名……………Vプーリ  
個 数……………1ヶ



good new days

人間らしい美しい未来を

**ヤナセ**

総発売元 株式会社 ヤナセ  
商事事業部

東京都港区芝浦1-6-38 〒105  
電話 東京 (03)452-4311(大代表)

製造元 石狩造機株式会社